

タイトル:平成 30(2018)年度 教育セミナー(第 14 回)

日時:2018 年 9 月 13 日(木)~16 日(日)

場所:東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所 3 階大会議室(303)

奈須 健(近畿大学工業高等専門学校)

2011 年に研究セミナーで発表させていただいてから、私事で少し研究から離れておりました。今回研究できる環境が徐々にできてきたため、参加したことのなかった教育セミナーに参加させていただきました。

教育セミナーに参加させていただき、まずは参加学生の研究に対する熱意を感じました。中東研究という大きな枠組みの中で、文化人類学、歴史学、社会学、政治学、国際関係等、様々な分野で研究されている学生たちと知り合え、意見交換をできたことは、自分にとってとてもプラスになったと感じています。学生たちが作ってきたレジュメを拝読し、発表の概要を伺っていたのですが、どの発表も興味深いものばかりで大いに刺激を受けた 4 日間でありました。質疑応答に関しても、自分の専門以外の質問も積極的にされている学生が多く、活発な議論が展開されていたと思います。AA 研の先生方はもちろんのこと、受講生たちから新たな視点を勉強させていただくこともできました。今回私が研究している分野の国際関係の観点からの発表者はいませんが、それぞれ発表された学生たちに対する AA 研の先生方の研究に対するアドバイスや指摘点を伺うことで、中東地域を広く捉え、関連するところがあったので、私自身とても勉強になりました。

また、以前の研究セミナー同様、初日が終わってからの懇親会もありました。AA 研の先生方が受講生たちに対して気遣って下さり、それぞれの学生たちは初日から先生方との距離を縮めることができたように思います。このように細かなところまで心遣いをしていただき、本当に感謝しております。

私は今回、この教育セミナーで初の試みであった、ポスター発表に応募させていただきました。私自身、ポスター発表は初めてのことで、段取り等に戸惑ってしまったところがありましたが、入り口近くに私のポスターを掲示していただいたことで、何人かの学生さんとディスカッションすることができました。分野こそ違いはありましたが、中東諸国のことを研究に対するモチベーションの高い学生たちと話し合えたのは、私にとってとても有意義でした。特に中東諸国へフィールドワークとして行かれていた学生さんが数名おられ、現地の生の情報を聞くことができたことは興味深いものがあり、自分自身、機会があればフィールドワークも積極的にしていきたいという気持ちが生じました。

最後になりましたが、今回教育セミナーでご指導してくださった AA 研の先生方、事務局の千葉さん、参加者の学生の皆様には心より感謝申し上げます。